

－令和 6 年度　くるめ支え合うプラン推進協議会－

重層的支援体制整備事業で目指す方向性



久留米市 健康福祉部 地域福祉課

素案で議論を

令和3年度から始まった重層的支援体制整備事業。相談支援・参加支援などの体制整備とともに、地域づくりとして「AU-case project」などさまざまな取り組みが進みました。その一方でまだまだ方向性が定まらないのも事実。そこで今後の大きな方向性を考えるための素案としてまとめてみました



■地域共生社会に向けた体制整備で目指す姿

一人の暮らしと
一人の暮らしが
重なり合う

地域共生社会づくりを進めるための地域福祉計画「支え合うプラン」。

ここで定めた目指す姿「支え合うところあふれるまち久留米」を、もう一息「地域福祉的」に言語化しよう。地域共生社会の実現には「支える、支えられる」で分断しないの視点から、「生活者」として生きづらさを抱えた人と関われるという状態を目指したいと思っています。

■目指す姿に到達するための共通理念

**「叶え合う」で
福祉や支援を
捉えなおす**

「福祉」や「支援」という言葉は、本来はもっと広義で一般的なはず。支援を「人への関わり」と捉えられれば「する側」「される側」に固定しない地域になれるはず。「叶え合う」の理念で、人と人との関わり合いを作る。そこから、支援や福祉の概念に変化が生まれることで関わる主体が広がれば。

さて、重層事業で何と何が重なるのか

推進の段階を 3つのフェーズに 【久留米市重層3.0】

困り事を抱えた人の暮らしを制度や支援機関同士だけが支えるだけでなく、インフォーマルな力が生かされる。最終的には人の暮らしに人の暮らしが重なり、住民の力が支援に生かされる状態を久留米の重層的支援の目指す状態としたい。そこまでの3段階を整理したい。

【重層1.0】 人と制度／人と活動団体

制度が暮らしを守り、 活動団体は寄り添う

- ①相談支援機関や行政窓口の垣根が低くなり、断らない包括的な相談支援体制
- ②支援活動団体の活動が見える化、活性化されている状態



【重層2.0】 人と制度と活動団体

フォーマルと インフォーマルが2車線に

- ①活動団体が重層的支援体制の一員に
- ②活動団体同士の関わり合うネットワークの構築
- ③企業と支援体制との連携体制が築かれる

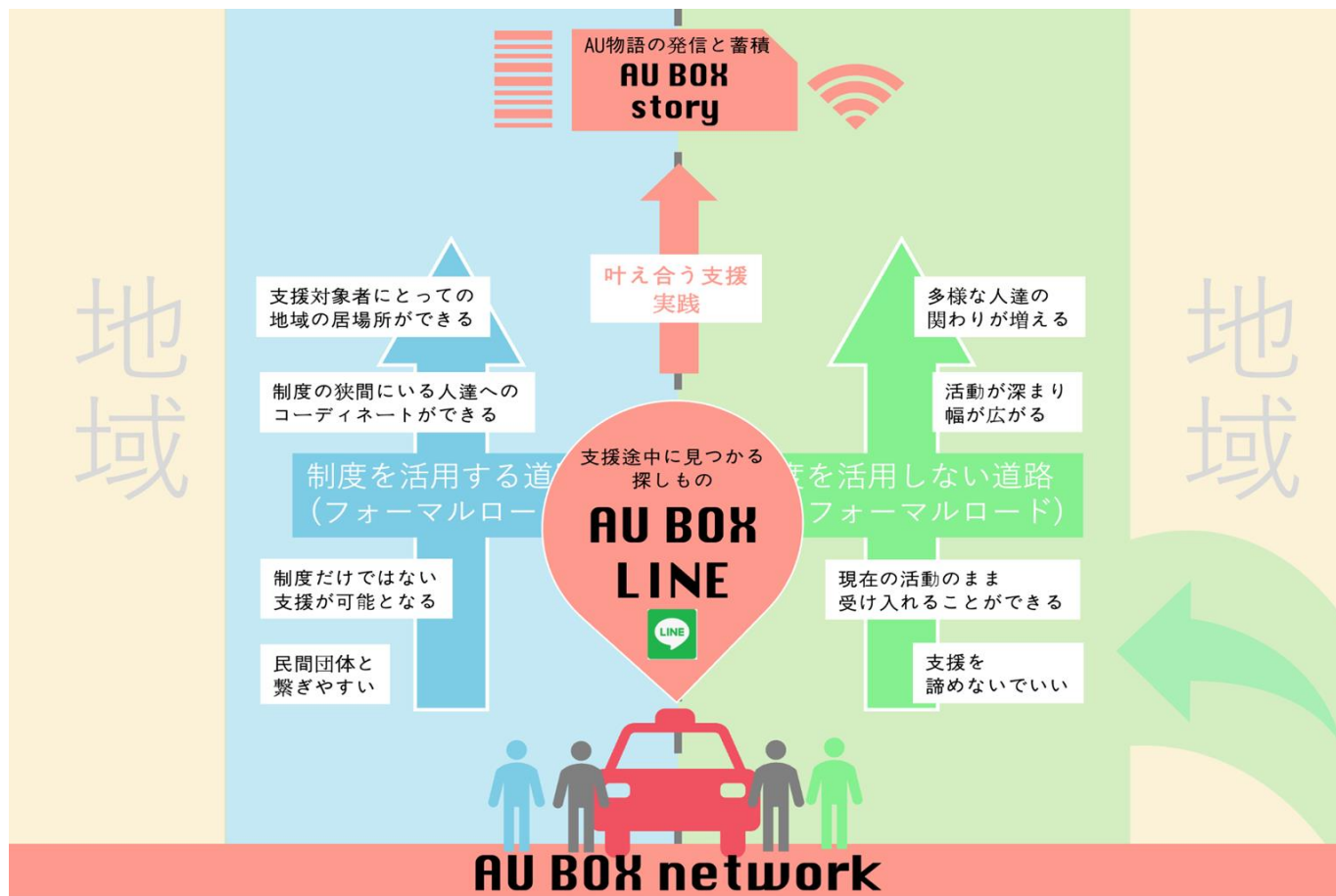


2023.08.17thu
13:00-15:00
@じじっか
久留米市梅瀬町32-42F
オンラインも可

内容
●本事業の趣旨説明
●各団体の活動紹介

第一回目の今回は、本プロジェクトに関心を持って頂いた16団体の皆様と開催します。

令和5年度地域と福祉の編集事業（久留米市委託事業）



【重層3.0】 人と制度と活動団体と人々

当事者・共事者意識で 住民が関わり合う

- ①インフォーマルな支援の受け皿が地域にできる
- ②住民が暮らしの延長で困り事を抱える人に
関われる事業デザイン
- ③『当事者感覚』『共事者感覚』が浸透

